

一般質問

9月定例会では、26人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

JR米子駅の南北一体化

内田 隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 米子駅は48年が経過しており、耐震改修促進法により平成27年度末までの耐震化の完成が求められている。米子市は米子駅南北一体化に着手するという鳥取県との覚書を遵守すべきだ。JRの駅ビルの改修と同時期に南北一体化を実現するべきと考えるが知事の見解を伺う。

答 米子市は、可及的速やかに進捗を図れというのが私どもとしての線かなと思う。米子市のほうでもぜひ進捗を図っていただきたいと思う。

市場の現状を把握し改革を

前田 八壽彦 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 儲かる漁業にするためには、市場が機能していないのでは。

答 必要があれば市場改革をこのことであるが、市場外取引も広がっている。市場改革は市場関係者や水産関係者の考え方や港によって考え方も異なる部分がある。関係者の中で議論をして頂き最適の解をと思う。県内でとれる魚は魚種も豊富で新鮮で安全なイメージが広がっている。今は販路を増やしていく最大のチャンスである。市場関係者や水産関係者の意見を聞き改革の方向性を探っていく。

商工団体で地域の振興を

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 自由民主党

問 商工団体を中山間地域における地域振興を担う機関としての位置づけと活用を問う。商工団体の組織体制等機能強化の必要がある。財源や農商工連携、六次産業化等の機能の一部を担っては。

答 重要なパートナーとして従来以上に明確に改定の中で位置づけをしていく。中山間地域にかかわる多様な主体の一つとして位置づけている。県として応援していく。

個別の事業を個別の商工会と話をしていきたい。

産業振興条例推進策を問う

鉄永 幸紀 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 鳥取県産業振興条例が施行されて一年経つ。県庁は情報の宝の山であるにも関わらず活用されていないので、具体例を基に職員意識改革を求める。①部局間の情報共有 ②市町村の研究成果の活用 ③道路照明灯の分離発注 ④マイクロ発電機への県支援を問う。

答 ①商工労働部を中心に統轄監をヘッドとして壁を取払う ②市町村との連携を密にし情報探知する ③LED道路照明灯は県内企業に分離発注する ④競争力のある商品へ応援する。

鳥取大砂丘と中山間地振興

濱辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 ①地域づくりサポーターの資質の向上に取り組みべきだ ②鳥取砂丘にビジターセンターの機能を備えたジオパークセンターが設置できるように環境省へ働きかけると共に、鳥取大砂丘がきれいになるよう取り組んで頂きたい。

答 ①中山間地域振興に携わる

方々と支援や方策について意見交換等ができる企画を考えている。②ジオパークは、歴史、自然科学、産業等さまざまな側面のあるスポット。その意味で色々と推進していきたい。

台湾と海士町 その視察から

上村 忠史 議員



選挙区 西伯郡 会派 自由民主党

問 ①台湾は親日的。多方面で交流を深めては ②海士町は超過疎少子化と財政難の町だったが新町長が地域資源を活かし産業起こしと教育改革をした。県の状況は ③U-Jターン者の現況は。

答 ①確かに親日的で海の波風はあるが人の心はつながっている。チャーター便や自転車メーカーとの関わりを大切に交流していく ②県内には海士町より素材は多い。商品開発と売り方の努力が大事。県も後方支援をする ③5年間で約1700名が移住した。

本の自主規制 違憲の疑いは

砂場 隆浩 議員



選挙区 鳥取市 会派 かけはし

問 表現の自由は個人の自己実現と国民の自己統治に不可欠な大切な人権。薬物被害から子どもたちを守るため、書店に薬物関連書籍

の販売自主規制を求める青少年健全育成条例改正案は、表現の内容評価で表現を規制するもので違憲の疑いがある。県内の書店はブックインとつりの開催などで全国的評価が高い。自主規制なら条例化せずお任せすればいいのでは。

入場券の半券紛失問題

森岡 俊夫 議員



選挙区 境港市 会派 かけはし

問 花回廊における入場券の半券紛失問題と再発防止にむけたチェック体制について所見を問う。

答 半券はお金の動きに対する証拠であり、些細な事務処理のミスで片づけるべきではない。第三者委員会を設置して改めて再調査する。

問 他の指定管理施設についても全庁的に統一した監査体制を。

答 この事実を教訓として所管課に調査権限を持たせるなど全庁的にルール化を図り、不適切事案の報告体制も再構築していく。

会派正式名称

自由民主党…鳥取県議会自由民主党
 かけはし…鳥取県議会「かけはし」
 公明党…公明党鳥取県議員団
 共産党…日本共産党鳥取県議員団
 とつとり…県議会とつとり

鳥取自動車道 開通に向けて

福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡 会派 自由民主党



問 ①今年度、県民待望の鳥取自動車道姫路鳥取線が全面開通を迎えるが、県としての戦略や知事の意気込みを問う②その開通に合わせ、鳥取港と隠岐とを結んだフェリー航路を開設し、ジオパークをテーマに関西からの観光ツアーを企画してみてもどうか。

答 ①大いにPRし大いに観光の活性化を果たし観光商品の造成を図っていく②鳥取港と隠岐を結んで周遊的なルートを組む実験は当然ありだ。まずは、山陰両県で相談し航路テストを行ってみよう。

有害鳥獣の 抜本対策を

国岡 智志 議員

選挙区 八頭郡 会派 かけはし



問 駆除する狩猟者の利便性を考慮し、東部への射撃場の整備を。鳥取クレー射撃場の再開は。

答 射撃場の整備のあり方についての検討会で議論していきたい。

問 林野庁と積極的に有害鳥獣対策に乗り出して欲しい。国有林・県有林を活用して野生動物の生息・生育地を設けては。人工林を針広混交林に誘導してはどうか。

答 国有林や県有林の整備、里山

整備で、広葉樹林化や混交林化を進め、動物のすみかを人間と分けたい。

鉄道高速化と 総合特区

齊木 正一 議員

選挙区 米子市 会派 自由民主党



問 ①災害に強い国土を形成するために高速鉄道網の整備実現と、フリーゲージトレインをJR伯備線に導入するための線形改良等課題解決に取組むべき②西部九市町村対象エリアの「鳥取発次世代社会モデル創造特区」は県内初の指定。地域の将来像は。

答 ①山陰など空白地域へ国策として取り組む議論を提起すべき。伯備線のフリーゲージ化は知見を集めての議論が必要②先進モデルを鳥取県に導入して、ライフスタイルの転換を図る。

看護師養成へ 現実の支援を

長谷川 稔 議員

選挙区 倉吉市 会派 かけはし



問 看護師養成のあり方検討委員会の役割は適切な助言と県としての支援策を示すことでは。県立の養成機関の課題は。鳥取短期大を母体に四年制看護大を設置する構想があるが、県の受け止め方は。

答 現実に向かえる県側のサポ

トを検討委員会で検討していきたい。県立の課題は教員と研修先の確保で、新設時の課題でもある。少子化で難しい中、短大は看護師養成の熱意と能力をお持ちなので、私学助成として応分の支援のあり方を模索していきたい。

エンカレッジ スクール

澤 紀男 議員

選挙区 米子市 会派 公明党



問 鳥取県の高等学校教育の現状から見て、エンカレッジスクールの取り組みをどう受け止めているのか、モデル的に導入するのにも一案ではと考えるが、教育委員長に伺う。

答 中学校での学習で十分力を発揮できなかった生徒や、高校入学後、改めて学び直したいという生徒を励まし、自信を与え、潜在能力を伸ばすことを目的とした東京都のエンカレッジスクールの取り組みは大変興味深い、本県でできる取り組みを話し合ってみよう。

体育専科教員 今後を問う

藤縄 喜和 議員

選挙区 鳥取市 会派 自由民主党



問 本年4月から小学校で体育専科教員制度がモデル的に導入される3人の非常勤講師が指導にあたっ

ている。成果が期待される制度なので、今後は正教員での対応でより良い制度にするべきでは。

答 小学生のアンケートによると小学校6年生女子では運動が楽しいと答えた児童が10%増加した。教員も技術的なポイントがわかるようになった。効果が上がっているのでも来年度も配置したい。それを見極めた上で、次の段階に行こうと思っている。

高等学校での 模擬投票

森 雅幹 議員

選挙区 米子市 会派 絆



問 教育とは「世の中に通用する大人をつくること」である。国が概算要求している「主権者育成事業」の実施や神奈川県で実施されているように全県立高校で模擬投票を行うべきと考えるがどうか。

答 全く同感。教育委員会の意を受けて、主権者育成事業の予算措置を前向きに後押ししたい。教委としては、政治に対する興味・関心を持たせ、積極的に政治に参加する姿勢が育つものと考えられる。市町村の選挙の援助を受けながら、ぜひ取り組んでみたい。

農業経営の 高齢化問題

広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡 会派 かいしん



問 一向に減少しない農作業中の事故の防止対策は十分か。

答 従来よりも啓発活動を強化し、メディアの活用など農業者に直接周知できるように取り組む。

問 突然の病气事故で農業経営ができなくなった時の支援や、身内に農業後継者が不在による廃業を無くする為の制度づくりを急げ。

答 第一次産業の経営移譲には色々課題があり、地域の支え合いの中で解決策を見出したい。今、南部町が取り組む新しいモデルケースに注目している。

退職手当の 官民格差是正

銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市 会派 公明党



問 国では退職手当等の官民格差400万円余りを是正すると決定。退職手当の原資は一般財源であり税金だ。納税者の理解を得るためには、県でも官民格差があれば見直していく必要がある。

答 人事委員会での実態調査結果を受けて検討し、必要に応じて議会に相談し条例を制定する。現状は今年度約77億円が、ピークの平成33年には147億円に増加見込み。約70億円の増加。国と同じく15%カットすれば50億円の増加に抑制できる。



建設技術者の育成を

錦織陽子 議員



選挙区 米子市 会派 共産党

問 建設業界は厳しい経営環境が続いている。耐用年数を迎えた橋梁、建築物の改修や災害対応などに建設業は必要だ。県は業種転換を図ることは避けられないというが、建設業はマンパワーが命。建設業を継続し、持続可能な若い建設技術者の育成のため、農業・漁業の新規就業者支援並みの支援をすべきだ。

答 まずは事業量の確保。若手の育成は必要であり、関係者の意見を聞きながら実効性のある対策をとっていききたい。

オスプレイと三洋雇用問題

市谷知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

問 ①米軍機オスプレイ配備と低空飛行訓練の中止要請を②三洋・パナに三洋CEと関連会社の雇用維持の要請を。

答 ①全国知事会でも発言し全会一致の決議になった。安全性が確認されておらず日米安保でも率直に米国と交渉すべき。今後も要請活動、低空飛行訓練の調査をする②雇用維持は求めたが雇用の報告がない。離職者が出る可能性がある。

り、必要な対策を打つ。見通しが立て難い関連会社も出ている。再生を真剣に協議し対策を打ちたい。

子どもに関し三つの課題

浜田妙子 議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 ①中部療育園舎問題と来春入学児の通学バス利用を可能に②医療と学校で食物アレルギー対策を③早期の危険通学路対策を

答 ①プレハブ園舎については、いずれ対応したいと考えている。通学バスにおける児童の痰吸引は実施出来る様現場に指示した②鳥大医学部への専門外来設置は協議会で検討し依頼したい。学校でのアナフィラキシーショック対応を可能にし、親の会も支援する③優先順位に従い予算措置をしつつ、早期に対応する。

拉致被害者の救済について

野田修 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 5人の北朝鮮拉致被害者救済から10年。国民大集会で曾我ひとみさんの訴え、横田早紀江さんの母の叫びを耳にした知事は、1千万人署名と松本京子さん救済について、如何に対処されるのか。

答 北朝鮮主導者の交代を機に、

政府には毅然とした外交交渉の働きかけを行う。1千万人署名については、県内外からの集客が期待できるマンガ博会場でパネル展と署名活動を実施。松本京子さんについては忽然と姿を消して35年、局面打開に最大限の努力を払う。

魚養殖とまちなか過疎

浜崎晋一 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①魚の陸上養殖に対する県の方向性は。閉鎖循環式陸上の養殖技術開発を促進すべきでは②まちなか対策における県の役割は。これからは、「心の過疎化」への対処が本当の意味で大切なのでは。

答 ①県として陸上養殖をぜひ目指したい。県内で閉鎖循環式が可能なかの調査研究を行いたい②地域の実態を認識し、県の役割を整理したい。まちなか施策を県と市が連携し展開できる体制を整備したい。皆が協力し「心の過疎化」がない県を作り上げていきたい。

アジアナ航空韓国との交流

谷村悠介 議員



選挙区 鳥取市 会派 とっとり

問 米子ソウル便は米子からの出発時間帯が悪いと聞く。また竹島・漁業問題、費用対効果等からアシ

アナ航空への補助金は徐々に縮小し、韓国との交流も見直すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答 国の外交と両立させながら経済的文化的つながりを作ることも現場の努めと考えている。運航支援は定期性、継続性を維持して利用者の便益を図るのが目的。4度ダイヤを見直したが、利用者の声を聞き、アジアナ航空とも相談し、より良いダイヤにしていきたい。

教育委員会の障がい者雇用

福岡裕隆 議員



選挙区 西伯郡 会派 絆

問 中国地方で最も悪い鳥取県教育委員会の障がい者雇用率を法定雇用率まで引き上げるための具体的な取り組みは。

答 業務内容や仕事の進め方を見直し障がい者の方が携われる業務がないのが整理して、これまでの考え方にとらわれることなく雇用に繋がる具体的な取り組みをしていく。これまでにないシステムを作るなど、発想を変えていく必要がある。近く戦略プロジェクトチームを作り、こうした動きを加速し雇用創出に努めたい。

脱法ハープ等条例で規制を

伊藤保 議員



選挙区 東伯郡 会派 絆

問 提案された青少年健全育成条例改正案は、脱法ハープ等の使用をおおる図書類の販売の自主規制を求める内容だが、改正案は強制力がない。未然防止の観点から脱法ハープ等の有害薬物の使用を規制する条例が必要でないか。

答 東京や大阪では既に禁止条例の制定又は検討中であり、都会を追い出された有害薬物が県内にやってくる可能性がある。抑止力として同様な措置を取る規制が合理的であり、国の動向を見ながら素案作りを進めたい。

地下水保全の条例是非論

稲田寿久 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 地下水について規制を考える上で重要なことは「地下水は一体誰のものか」と問うてみることにある。私水論、公水論をめぐっての法論理に对立がある。いずれの説をとるにせよ、国なり自治体が法律、条例上、論理の一貫性をもって条文作成を行わねばならない。知事提出の条例は如何。今ひとつ深い勉強、研究が必要と思うがどうか。

答 財産権への制約は憲法の認めるところ。基本的には私水論に立つが、公水論的側面も認める。引き続き研究する。